



大谷 友則 議員

児童生徒の読書活動の推進は

Q 読書活動の推進をどのように取り組もうとしているのか。

A 山本教育長
今年3月に「豊頃町子どもの読書活動推進計画」を策定し、その中では、各学校での朝読書や出前読み聞かせ会の推進、乳幼児健診時に本をプレゼントするブックスタート事業等を継続することにも、新たに文字を覚える時期である保育所年長児に本をプレゼントするセカンドブック事業の取組みを進めたい。

Q 学校の蔵書冊数が、国の基準に満たない学校があるが対策は。

A 山本教育長
図書館の蔵書図書の貸し出しにより補っている。図書購入予算は、教育予算全体のバランスをみて検討しており、引き続き予算編成の中で協議を進めたい。



大津小学校の図書室

Q 学校に司書教諭を配置する考えは。

A 山本教育長
法令により、11学級以下の学校には配置しないことができるため、配置に至っていないが、読書推進の観点から検討しなければならぬと考えている。

Q テレビやゲームを長時間することやスマートフォン普及により、読書に向かない子どもへの対策は。

A 山本教育長
子どもの読書週間の啓発やノーテレビデーの実施を通して、家庭生活習慣の見直しが進むよう取り組んでいきたい。

スポーツ・部活動招致への施設整備は

Q 茂岩高台のスポーツ施設の総合的な検証と整備の考えは。

A 宮口町長
野球場は、練習試合等で町外者が利用し、サッカー場は、昨年6千人を超える利用があった。合宿等での利用を伸ばすには、宿泊施設の利用がなければ難しいと考えている。なお、学校施設のあり方を考える「豊頃町学校校舎等建築検討委員会」の中でも、運動施設について検討いただいている。



大崎 英樹 議員

Q 2020年東京オリンピックに向けて、全国では合宿の誘致合戦が行われている。施設整備により、利用の増加が期待できると考えるか。

A 宮口町長
学校施設の建て替えの問題と合わせて、豊頃小学校、豊頃中学校



茂岩山自然公園のスポーツ施設

の野球場として利用できるものを学校近くに整備し、茂岩高台の野球場は、サッカー場や運動広場に転換するなど様々な案を検討している。また、林業研修センターの取り壊しを検討するなど、茂岩高台全般の利用を総合的に見直していきたい。

Q テニスコートや、サッカー場をラグビーにも使用させるなど再整備の考えは。

A 宮口町長
教育委員会と協議を進めながら、総合的に判断したいと考えている。



小笠原茂人 議員

産業の担い手確保育成対策は

Q 建設・土木業では、人手不足により業務内容を見直す会社があるが、業界活性化への対策は。

A 宮口町長
建設・土木業のみならず、人手不足は、町の産業全体の課題である。町の事業の計画的な発注により、人手確保に役立つよう努力したい。しかし、町が発注する事業費が減少傾向にある現状では、他市町村の仕事を受注しなければ活性化しないのではと考えている。

Q 共同企業体による入札参加は可能か。

A 宮口町長
工事内容によって、そのような形は可能と考えている。

Q 毎年、年間通じて計画的に工事を発注するよう配慮を。

誘致企業の現状と今後の動向は

Q 町が発致した企業の現状は。

A 宮口町長
主な誘致企業であるアイシン精機は、平成4年に町内で事業を開始以来、関連企業の社員の定住や小学生へのものづくり講座の開催など、交流を深めている。

また、ユーラス豊頃太陽光は、町内で太陽光発電事業を展開し、本町に貢献いただいている。両社の進出によって、安定した固定資産税収入が得られるなど本町にとって大切な企業である。

Q エコERCCの現状と今後の動向は。

A 宮口町長
厳しい状況下にあると聞いています。同社が製造するバイオ燃料は、町のスクールバスでも利用していますが、現在は停滞している。

Q エコERCCに対して可能な範囲で行政から指導を行う考えは。

A 宮口町長
行政が指導する考えはないが、前進するよう期待したい。



土木工事の様子

A 宮口町長
できるだけ配慮できるように努力していきたい。

Q 商店街には後継者のいない店舗が多いが、対策は。

A 宮口町長
店を守る、町を守るこの考え方により、必要な支援をしていきたい。

Q 各店舗の経営は、自助努力による改善が難しいところまでできていると考えている。今後も継続して営業できるよう、抜本的な施策が必要と考えるが。

A 宮口町長
商工会との連携を密にししながら、各店舗が生き残れるよう支援していきたい。

合同墓(塚)の設置は

Q 平成27年12月定例会の一般質問で同じ質問をしたが、その後の検討経過と設置の考えは。

A 宮口町長
十勝管内の状況を調査したところ、帯広市が設置済み、芽室町が計画で、その他の町村は今後検討等となっている。

これまでに町民からの要望等はなく、宗教的な面などの問題もあり、大変難しい問題と認識している。なお、茂岩高台の墓地には、供養の碑という身元不明者を納める墓があり、町において毎年お参りをしている。

Q 合同墓(塚)設置に対する今後の考えは。

A 宮口町長
少子化、核家族化が進む中、墓の問題は避けて通れないと認識している。合同墓(塚)は、一旦埋葬すると出すことはできないことや、宗教の問題など多くの問題があり、他市町村の動向も参考にしながら、今後も検討していきたい。